

活動報告

団体名	社会福祉法人 賛育会
活動名	被災事業所の資源を活かした在宅避難者支援のための活動
活動期間	2019/10/13～2020/3/31
活動の成果	<p>地域が浸水による被災をする中で、発災当初は物資提供・炊き出しのニーズに対応した地域の拠点としての機能を果たすことができました。本事業で設置したプレハブでは、炊き出しの食事をされる方、足湯、落語、学習支援などのイベントで多くの被災された住民がご利用されました。自宅を離れて避難所や親せき宅に生活場所を移す中で、自宅内に流入した泥のかき出し、自宅の片づけなどの作業に追われました。ボランティアセンターと協力して当事業のスタッフも継続的な支援に携わりました。被災された住宅の復旧状況に差が生じ始める中、復旧から取り残された住民に着目し、要支援者として訪問や来館により状況を把握して必要な機関や制度につなげる役割を担っています。これらの活動により、本事業が被災された住民に認知されて、必要な活動であると受け止めて頂くようになりました。本事業は「まちの縁側」として誰でも気軽に立ち寄り、住民同士がお茶を飲みながら会話をする中で、失われた地域の関係を取り戻すことも目的としています。新型コロナの影響により、集いの場としての機能は減少していますが、創意工夫をして訪問を中心とした活動に移行しながら被災された地域住民の生活の再建に向けた支援活動を行うことができいております。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>この度、赤い羽根共同募金の配分金で、台風19号による浸水被害を受けた長野県長野市豊野町における在宅避難者支援のための活動をさせていただきました。本活動では、支援の拠点としてプレハブを設置して炊き出し・物資の提供・サロン活動・イベント開催・学習支援・要支援者への個別支援などの広範囲な支援を行うことができました。誠にありがとうございました。</p>

(活動のようす)

